

みんなではまらっせん

2018年度 立教たかたコミュニティ大学

プレ講座

# 朗読 × 文学

## 〈生きる〉を考える

日時

2018年 5月20日(日)

14:00-15:40

会場

陸前高田グローバルキャンパス

モンティ・ホール (旧米崎中学校)

〒029-2206 陸前高田市米崎町字神田113番地10

お問い合わせ

立教大学陸前高田サテライト事務局

TEL : 03-3985-4967

MAIL : rikusate@rikkyo.ac.jp



講師：後藤 隆基 氏 (立教大学兼任講師)

朗読：堀田 紀真 氏  
(朗読ネットワーク日本主宰。立教大学社会学部卒業)

朗読という表現は、本を黙読するだけではわからない、文学作品の味わい方の可能性をひろげてくれます。今回とりあげるのは、芥川龍之介の短篇小说「蜜柑」、長谷川摂子の絵本「人形の旅立ち」、谷川俊太郎の震災後の詩篇。タイプの異なる物語や詩との対話から、どのような世界に出会えるでしょうか。朗読と文学の交感を、ぜひお楽しみください。

### 立教たかたコミュニティ大学とは

「立教たかたコミュニティ大学」は立教大学が主催する市民の皆様向けのプログラムです。立教ならではの特色あるプログラムを開催しています。

主催：立教大学陸前高田サテライト  
共催：陸前高田グローバルキャンパス  
後援：陸前高田市・陸前高田市教育委員会





ひとの声は、文字に宿ることばの力を引きだしてくれます。朗読という表現は、本を黙読するだけではわからない、文学作品の味わい方の可能性をひろげてくれます。本講座では、堀田紀真さん(朗読ネットワーク日本主宰/立教大学校友)の朗読によっていのちを吹きこまれることばをよりどころに多様な文学作品を読み解き、2018年度立教たかたコミュニティ大学のテーマである〈生きる〉という鍵言葉について考えてみたいと思います。今回とりあげるのは、芥川龍之介の短篇小説「蜜柑」、長谷川摂子の絵本「人形の旅立ち」、谷川俊太郎の震災後の詩篇。タイプの異なる物語や詩との対話から、どのような世界に出会えるでしょうか。朗読と文学の交感を、ぜひお楽しみください。

## 講師 後藤 隆基 氏

1981年、静岡県生まれ。立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期課程修了。博士(文学)。専攻は近現代日本演劇・文学・文化。現在、立教大学兼任講師、日本女子大学・川村学園女子大学非常勤講師。著書に『高安月郊研究—明治期京阪演劇の革新者』(晃洋書房)、編著に『〈3・11〉後の表現を考える』(立教大学日本学研究所)、共著に『歌舞伎と新劇の間』(森話社)、『〈ヤミ市〉文化論』(ひつじ書房)、『“生きる”時間のパラダイム—被災現地から描く原発事故後の世界』(日本評論社)他。立教大学ESD研究所に在職中、被災地支援プログラムの開発やESD(持続可能な開発のための教育)による地域創生等の研究プロジェクトに従事(2012~2017年度)。東京芸術劇場と立教大学の連携講座「池袋学」(2014~2017年度)の企画・運営にも携わった。



## 朗読 堀田 紀真 氏

朗読ネットワーク日本主宰、鳥取県出身。立教大学社会学部新聞広報課程を卒業後、その制作力と「声」を活かすため民放ラジオ局へ入社。2003年より、美しい日本語と優れた日本文学の継承を目的に、朗読活動を始め、国内の定期公演や陸前高田市などでボランティア活動にも参加。ロサンゼルス10年、サンフランシスコ5年、シアトルなどで「心の声」を伝える、新しい「語りの世界」を企画構成している。



## 陸前高田グローバルキャンパス(愛称:たかたのゆめキャンパス)とは・・・

陸前高田市の協力のもと、岩手大学と立教大学により開設された地域の方に広く開放されたスペースです。誰でも無料で利用できるラウンジのほか、イベント・会議といった用途に合わせて、モンティ・ホール(講堂)、ワークショップルーム、多目的室などをレンタルしていただけます。詳細はwebサイト(<https://rtgc.jp>)等でご確認ください。

住所: 〒029-2206 岩手県陸前高田市米崎町字神田113番地10

(旧陸前高田市立米崎中学校)

お問い合わせ: 陸前高田グローバルキャンパス事務局

TEL 0192-47-3901 E-mail [contact@rtgc.jp](mailto:contact@rtgc.jp)

